

一般社団法人 日本家政学会関東支部
平成 26 年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

一般社団法人日本家政学会関東支部 平成 26 年度通常総会次第

日 時： 平成 26 年 4 月 26 日（土）12 時 30 分～13 時 00 分

会 場： 共立女子大学

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

第一号議案 平成 25 年度事業報告の承認に関する件

第二号議案 平成 25 年度収支決算報告に関する件

第三号議案 平成 25 年度監査報告の件

第四号議案 平成 26・27 年度役員選出の件

第五号議案 平成 26 年度事業計画案の件

第六号議案 平成 26 年度収支予算案の件

5. 議長解任

6. 閉 会

【第一号議案】平成25年度事業報告の件

1. 総務関係

(1) 会員の状況（平成26年3月現在）

正会員	1,038名	（永年会員33名を含む）
学生会員	91名	
計	1,129名	

名誉会員 13名（支部に属さず、参考）

(2) 総会（規約第11条（1））

2.1) 通常総会

平成25年4月28日（土）於 共立女子大学
平成24年度事業報告及び収支決算
平成25年度事業計画及び予算案の承認など

2.2) 臨時総会

平成25年11月9日（土）於 共立女子大学
次期支部選出役員等の選挙結果など

(3) 役員会開催（規約第11条（3））

- 3.1) 第1回 平成25年4月27日（土）於 共立女子大学
出席（19名）：支部長、副支部長2、幹事13、監事1、オブザーバー2
- 3.2) 第2回 平成25年4月27日（土）於 共立女子大学
出席（19名）：支部長、副支部長2、幹事14、監事2
- 3.3) 第3回 平成25年6月22日（土）於 共立女子大学
出席（14名）：支部長、副支部長2、幹事9、監事1、オブザーバー1
- 3.4) 第4回 平成25年9月18日（水）於 ライオン株式会社平井事務所
出席（17名）：支部長、副支部長2、幹事13、オブザーバー1
- 3.5) 第5回 平成25年11月9日（土）於 共立女子大学
出席（13名）：支部長、副支部長2、幹事8、監事1、オブザーバー1
- 3.6) 第6回 平成25年11月9日（土）於 共立女子大学
出席（14名）：支部長、副支部長2、幹事9、監事1、オブザーバー1
- 3.7) 第7回 平成26年2月22日（土）於 埼玉大学
出席（16名）：支部長、副支部長2、幹事13

(4) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

- 5.1) 学会賞・奨励賞の推薦はなし。
- 5.2) 功労賞候補として、大森正司氏、高部啓子氏、2名を推薦した。

2. 財務関係

研究発表会（C企画）、パソコン講習会（D企画）と2件の見学講演会（E企画）が予定通り実施された。そのうち研究発表会とパソコン講習会については本部の活動助成金が認められた。そのため支部の実質的な負担は、研究発表会については消耗品の一部、パソコン講習会については講師謝礼の一部となり、予算内で賄うことができた。25年度は選挙実施年であり、本部より選挙費が支給され、選挙費用もほぼ予算額とすることができた。当期分の支出は本部交付金と活動助成金の範囲内であり、予算支出合計額を下回った。しかし、今後は会員数の減少が予想され、学会本部の活動助成金の獲得とさらなる支出削減の努力が必要と考えられる。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第16回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

平成26年2月22日（土） 於：埼玉大学 13：00～18：20（研究交流会含む）

演題数 31件（卒論24件、修論7件）

参加者 85名（学会員31名、非会員54名、内訳—教員32名、学生52名、一般1名）

発表に対し 卒論10題と修論3題について支部長賞の表彰を行った。

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) パソコン講習会「Adobe Acrobat 9 基本講座

—基本から効果的に使いこなすためのテクニック—

日 時：平成25年4月27日（土）13：30～16：30

会 場：共立女子大学

講 師：Adobe認定インストラクター 天野英明氏

静岡大学教育学部 教授 色川卓男氏

参加者：44名（学会員35名、学生会員1名、非会員8名）

(3) 見学会・講演会（規約第4条（2）（3））

3.1) 見学講演会「ライオン株式会社「コミュニケーションセンター」見学会&講演会」

日 時：平成25年9月18日（水）13：00～16：00

会 場：ライオン株式会社 平井事業所

見 学：ライオン株式会社「コミュニケーションセンター」

講 演：コレカラ家族～「家族」をもっと「家族」にすることを考える～
日用家庭用品の安全性評価について

講 師：生活者行動研究所担当部長 原憲子氏

環境安全性評価センター所長 原田房枝氏

参加者：29名（会員19名、非会員10名、うち学生2名）

3.2) 見学会「テイジン未来スタジオ」

日 時：平成25年11月21日（木）13時30分～14時30分

会 場：テイジン未来スタジオ（東京都千代田区霞が関3-2-1霞ヶ関コモンゲート西館）

内 容：帝人グループスタッフによる最新技術と製品・素材の紹介と見学・体験

参加者：21名（学会員10名、非会員（学生）11名）

4. 広報関係

(1) 関東支部ホームページの管理

昨年度に引き続き、（株）シーサイドネットとの間でサーバー使用に関する契約（セキュアレンタルサーバーサービス [C'S SERVER Professional]）の更新を行った。同様に、（有）クリエイティブ・プラントとの間でホームページ管理に関する契約の更新を行い、役員会抄録や総会議案書、各企画の案内等のホームページへの掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

(2) 関東支部メールニュースの配信

メールニュース受信用のアドレス登録を勧誘した。平成26年3月31日現在で、522名が登録している。平成25年度はメールニュースの配信を2回行った。

(3) その他の活動

関東支部ホームページに見学会、講演会、家政学関連卒論・修論発表会、パソコン講習会の案内、家政学関連のイベント案内やポスターを掲載し、広く広報活動を行った。

5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況（平成26年3月現在）

正会員	48名
学生会員	12名
<hr/>	
計	60名

(2) 幹事会開催

- 2.1) 第1回 平成25年4月13日（土） 於 共立女子大学 出席：幹事8名
- 第2回 平成25年8月7日（土） 於 共立女子大学 出席：幹事7名
- 第3回 平成25年12月7日（土） 於 共立女子大学 出席：幹事5名

(3) 企画関係（規約第4条（2））

3.1) 平成25年度夏季企画

座談会「これからの働き方を考える」

平成25年8月7日（土） 於 共立女子大学 10:30～13:00

参加者14名（学生会員12名、非会員2名）

3.2) 平成25年度冬季企画

講演会・座談会「子の発達段階とキャリア・デザイン」

講師：坂本 有芳氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科日本学術振興会特別研究員-RPD）

平成24年12月7日（土） 於 共立女子大学 13:00～15:30

参加者14名（学生会員11名、非会員3名（内学生1名））

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ウェブサイトの管理

幹事情報の更新、企画の案内、活動報告の掲載を依頼し、掲載状況を確認した。

4.2) 情報発信・共有

家政学会誌、ならびに若手の会ウェブサイトに企画の案内やポスターを掲載した。若手の会メンバーおよび、過去の企画参加者に対し、企画の案内メールを送付した。

4.3) その他の活動

各企画案内、活動報告について関東支部に依頼し、リンクを支部ウェブサイトに掲載していただいた。

【第二号議案】平成25年度収支決算報告の件

【第二号議案】平成25年度収支決算報告の件

平成25年度 関東支部収支決算

収入の部 単位:円

	予算	決算	差異	備考
本部交付金	884,500	764,580	-119,920	※本部交付金684,500円+選挙費80,080円
本部活動助成金	100,000	182,245	77,778	PC講習会(90,661円) 卒論報告会(91,584円)
利息	100	109	9	
寄付金	0	0	0	
当期収入合計(a)	984,600	946,934	-37,666	
前期繰越収支差額	520,411	520,411	0	
収入合計(b)	1,505,011	1,467,345	-37,666	

支出の部 単位:円

	予算	決算	差異	備考
1.管理費関係				
会議費	70,000	39,781	-30,219	
旅費交通費	120,000	78,710	-41,290	
通信運搬費	10,000	1,600	-8,400	
消耗品費	10,000	588	-9,412	
人件費	35,000	0	-35,000	
印刷費	10,000	0	-10,000	
支払負担金	500	210	-290	
小計	255,500	120,889	-134,611	
2.事業関係費				
総会費	130,000	64,250	-65,750	
研究発表会	230,000	129,041	-100,959	
研究発表要旨集関連費用	10,000	5,960	-4,040	
見学会・講習会	200,000	163,815	-36,185	
研究助成(若手の会)	30,420	30,000	-420	
HP維持管理費	250,000	222,735	-27,265	
選挙費	170,000	176,520	6,520	
小計	1,020,420	792,321	-228,099	
3.その他				
予備費	20,000	0	-20,000	
小計	20,000	0	-20,000	
当期支出合計(c)	1,295,920	913,210	-382,710	
当期収支差額(a-c)	-311,320	33,724	345,044	
次期繰越収支差額(b-c)	209,091	554,135	345,044	

現金預金の期末残高内訳

	25年度
手許現金	90,915
銀行預金(普通預金)	463,220
銀行預金(定期預金)	0
合計	554,135

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、支部規約に則った適正な事業、適正な収支決算がなされていることを認めます。

平成 26年 4月 1日

監事 生野晴美 印
監事 四宮陽子 印

支部名: 関東支部

平成25年度 関東支部預金収支決算

一般

単位: 円

	費目名	収入金額	支払金額	
収入	繰入金	489,276		
	学会本部より	946,825		※本部交付金684,500円 + 選挙費80,080円+ 活動 助成金182,245円
	利息	109		
	収入合計	1,436,210		
支出	引出		600,000	
	事業③D企画PC講習会		150,045	
	事業⑤HP維持管理費		222,735	
	手数料		210	
	支出合計		972,990	
収支差額(次期繰越額)				463,220

定期預金

※平成23年10月18日解約し普通預金に振込む

	費目名	収入金額	支払金額	
収入	新規預け入れ	0		
	利息	0		
	収入合計	0		
支出	支出合計		0	
収支差額(次期繰越額)				0

【第三号議案】平成 25 年度監査報告の件

日本家政学会関東支部規程に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、支部事業に参加し、その実行状況を観察し、支部長と会計幹事から事業・決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

1. 総務関係

支部に所属する会員数はおよそ 1,100 名強（正会員約 1,000 名強、学生会員約 100 名）であり、昨年度より若干ではあるが増加している。さらに新たな会員の獲得が今後の課題である。

役員会の出席状況は良好で、適正かつ効率的な運営に努めている。また、功労賞候補者の推薦など本部との連携も行われている。

2. 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく示している。

平成 25 年度は本部からの活動助成金が増額され、単年度の収支は約 3 万円の黒字となった。財務状況から今後も、事業に対する本部からの活動助成金の獲得が重要であり、その申請のためにも事業計画の早期の立案等が必要である。

3. 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく示している。

平成 25 年度は講演会併催の見学会が 2 回実施され、盛会であった。学生の教育機会となっている面もあり、好ましいことと考えられる。修士論文・卒業論文発表会も演題数、参加者数ともに多く、研究交流会も盛会であった。

4. 広報関係

支部ホームページは広報に役立っている。役員間の連絡に用いるメーリングリストは十分に機能しており、情報共有に資するところ大である。支部会員へのメールニュースは 2 回配信された。メールニュースは速報性に優れるため、今後さらなる活用が望まれる。東日本大震災対応コラムの継続した充実も期待される。

5. 若手の会

平成 25 年度は夏期企画座談会が実施された。「全国若手の会」や関東支部メールニュース担当者との連携など、広報活動の強化により、次世代の育成の機会にすることが期待される。

以上、当支部の事業及び運営は概ね、順調に行われている。家政学会規程もしくは家政学会関東支部規程に反する重大な事項はないと判断した。

【第四号議案】 平成26・27年度役員選出の件

1. 支部役員

関東支部長

久保 桂子	千葉大学
-------	------

支部監事

堀越 栄子	日本女子大学
峯木 真知子	東京家政大学

支部幹事

1	綾部 園子	高崎健康福祉大学
2	飯田 文子	日本女子大学
3	大矢 勝	横浜国立大学
4	斎藤 悦子	お茶の水女子大学
5	新藤 一敏	日本女子大学
6	川端 博子	埼玉大学
7	松本 美鈴	大妻女子大学
8	五関 正江	日本女子大学
9	川上 梅	実践女子大学
10	小竹 佐知子	日本獣医生命科学大学
11	小西 史子	女子栄養大学
12	小原 敏郎	共立女子大学
13	惟村 直公	東京農業大学
14	時友 裕紀子	山梨大学
15	山崎 和彦	実践女子大学
16	倉持 清美	東京学芸大学
17	平尾 和子	愛国学園短期大学
18	小林 三智子	十文字学園女子大学
19	山口 庸子	共立女子短期大学
20	三宅 紀子	東京家政学院大学
支部長指名		
21	大橋寿美子	湘北短期大学
22	粕谷 美砂子	昭和女子大学

2. 関東支部選出本部代議員

1	綾部 園子	高崎健康福祉大学
2	杉山 久仁子	横浜国立大学
3	仲西 正	お茶の水女子大学
4	定行 まり子	日本女子大学
5	芦澤 昌子	日本女子大学
6	薩本 弥生	横浜国立大学
7	増子 富美	日本女子大学
8	堀越 栄子	日本女子大学
9	藤井 恵子	日本女子大学
10	多屋 淑子	日本女子大学
11	生野 晴美	東京学芸大学
12	吉川 はる奈	埼玉大学
13	岡田 宣子	東京家政大学
14	色川 卓男	静岡大学
15	数野 千恵子	実践女子大学
16	植竹 桃子	東京家政学院大学
17	斎藤 悦子	お茶の水女子大学
18	柳澤 幸江	和洋女子大学
19	塩原 みゆき	株式会社エフシージー総合研究所
20	松本 美鈴	大妻女子大学
21	山口 庸子	共立女子短期大学
22	塚原 典子	新潟医療福祉大学
23	阿部 栄子	大妻女子大学

【第五号議案】平成26年度事業計画案

1. 総務関係

(1) 総会（規約第11条（1））

1.1) 通常総会

平成26年4月26日（土）に共立女子大学において開催する。

(2) 役員会開催（規約第11条（3））

年6回の開催を予定している。

(3) 学会賞・奨励賞・功労賞の推薦

関東支部推薦の学会賞・奨励賞・功労賞の候補者の選考を行う。また、公益信託家政学研究助成基金の助成などについても申請することを推奨する。

2. 財務関係

交付金は前年度に比べ減額されている。これは会員数の減少によるものである。管理費関係（人件費を除く）と事業関係費（総会費、見学会・講習会、研究発表会、研究助成（若手の会）、HP維持管理費）は前年度予算とほぼ同額とした。平成26年度は選挙がないので、管理費関係の人件費を削減した。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第16回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

平成26年2月下旬～3月上旬に開催を予定している。

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) 研究・教育活動に役立つ講習会

平成26年4月26日、パソコン講習会を開催する。於：共立女子大学

(3) 見学会・講演会（規約第4条（2）（3））

年2回の見学会・講演会を予定している。

4. 広報関係

関東支部ホームページの内容整備や積極的な記事の掲載、更新、メールニュースの配信やアドレス登録呼びかけなどの広報活動を行う。具体的には、アドレス登録の簡素化による登録数の増加に努める。関東支部ホームページにアップロードした記事は必ず、家政学会のホームページなどにリンクを張る。

5. 若手の会の活動

平成25年度の企画では、幹事の総意により、託児サービスを利用した講演会や座談会を企画した。育児中の研究者も心おきなく参加でき、そうした姿をこれからの若手メンバーにみてもらう機会にもなり、仕事と家庭、育児や介護の両立問題を具体的に考える有意義な企画となった。

平成23年度より2年任期制で運営しているが、後任を探すことの困難さが大きな課題となっている。満了後も継続の形を取り、後任が見つければ引き継ぐ等の体制をとる、院生の場合は任期1年の学生幹事をもうけるなど、柔軟な組織作りを行い、円滑な会の活動ができるよう今後も検討していく。

平成26年度の夏季企画は、第1期助成申請の機会を関東支部から譲っていただけるということになり、昨年度に続き、託児サービス付きの企画として講演会・座談会を予定している。冬季企画においては、旧来実施してきた分野別の企画を復活させ、被服・食物・住居・その他分野における企画等を検討中である。昨年度より引き続き、負担が少なく実りの多い会の運営を目指し、facebookやメーリングリストを活用して、効率よく若手のニーズにあった運営をしていくこととした。

【第六号議案】平成26年度収支予算案

平成26年度 関東支部収支予算(案)

収入の部 単位:円

	予算	前年度予算	差異	備考
本部交付金	682,250	884,500	202,250	
本部活動助成金	100,000	100,000	0	
利息	100	100	0	
寄付金	0	0	0	
当期収入合計(a)	782,350	984,600	202,250	
前期繰越収支差額	554,135	520,411	-33,724	
収入合計(b)	1,336,485	1,505,011	168,526	

支出の部 単位:円

	予算	前年度予算	差異	備考
1.管理費関係				
会議費	70,000	70,000	0	
旅費交通費	120,000	120,000	0	
通信運搬費	10,000	10,000	0	
消耗品費	10,000	10,000	0	
人件費	5,000	35,000	30,000	
印刷費	10,000	10,000	0	
支払負担金	500	500	0	
小計	225,500	255,500	30,000	
2.事業関係費				
總會費	130,000	130,000	0	
見学会・講習会	200,000	200,000	0	
研究発表会	230,000	230,000	0	
研究発表要旨集関連費	10,000	10,000	0	
研究助成(若手の会)	30,420	30,420	0	
HP維持管理費	250,000	250,000	0	
選学費	0	170,000	170,000	
小計	850,420	1,020,420	170,000	
3.その他				
予備費	20,000	20,000	0	
小計	20,000	20,000	0	
当期支出合計(c)	1,095,920	1,295,920	200,000	
当期収支差額(a-c)	-313,570	-311,320	2,250	
次期繰越収支差額(b-c)	240,565	209,091	-31,474	

(関東支部)収支予算書(家)

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

2014/3/25

科目	注意点	当年度予算	前年度予算	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用益				
特定資産運用益	定期預金の利息分計上			
受取入金				
受取会費				
事業収入		0	0	
会誌購読料				
大会等参加費			0	
広告料				
学会刊行物売上				
著者負担金				
受取補助金	国、市区町村、民間団体からの補助金、助成金			どこから頂いたものが明記
一般寄付金				
特別寄付金	用途が決まっている寄付金			
雑収入	普通預金利息は全てこちらに計上して下さい。	100	100	
★本館からの繰入金収入	本部からの入金はこちらに記入	782,250	984,500	
事業活動収入計		782,350	984,600	
2 事業活動支出				
① 事業費支出		1,095,920	1,296,920	
大会等関連費用	内訳を以下の6科目にご記入ください。	230,000	230,000	研究発表会
会場使用料		30,000		
消耗品		60,000		
印刷費		20,000		研究発表会要旨集は別科目
通信運搬費		20,000		
臨時雇賃金		100,000		
講演会等関連費用	内訳を以下の6科目にご記入ください。	200,000	200,000	見学会・講演会
会場使用料		30,000		
講師謝金		90,000		
消耗品		30,000		
通信運搬費		30,000		
臨時雇賃金		20,000		
学会誌等関連費用	内訳を以下の3科目にご記入ください。	0	0	
印刷費				
通信費				
編集委員会費				
研究発表要旨集関連費用		10,000	10,000	研究発表会要旨集
研究補助費		30,420	30,420	若手の会
表彰費		0	0	
関連学会費				
給料手当	事務関係のアルバイト代	5,000	35,000	人件費
広報費		250,000	250,000	HP維持管理費
福利厚生費				
旅費交通費		120,000	120,000	旅費交通費
通信運搬費		10,000	180,000	通信運搬費
備品費				
消耗品費		10,000	10,000	消耗品費
光熱水料費				
雑費		20,000	20,000	予備費
総会費		130,000	130,000	総会費
事務委託費				
租税公課				
地代				
会議費		70,000	70,000	会議費
支払負担金		500	500	
印刷費		10,000	10,000	印刷費
謝礼金				
修繕費				
減価償却費				
リース料				
事務所管理費				
② 管理費支出				
事業活動支出計		1,095,920	1,296,920	
事業活動収支差額		▲ 313,570	▲ 311,320	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入	基金(定期預金)を取り崩した際に計上			
2 投資活動支出	※基金(定期預金)を積み立てた際に計上			
投資活動収支差額		0	0	
III 財務活動収支の部	借金等なので無し			
1 財務活動収入				
2 財務活動支出				
財務活動収支差額		0	0	
IV 予備費支出				
当期収支差額		▲ 313,570	▲ 311,320	
前期繰越収支差額		554,135	520,411	
次期繰越収支差額		240,565	209,091	

※新法人化に当たり、基金の取り崩し計画を立てているので、当年度も基金の金額を増やさないで下さい。

注) 当 Web 版では監査報告の監事のサインおよび印影は省略し、氏名の印字のみとしました。